

京都大学大学院理学研究科修士課程化学専攻学力考査における筆答試問の変更について  
(令和7年8月実施分より)

令和6年9月9日

令和8年度大学院修士課程入試(令和7年8月実施)から、英語および筆答試問について以下の変更を行いますので、受験者の皆様にあらかじめお知らせします。

・英語について

(変更前)

筆答試問当日に会場にて英語の筆答試問を行う(TOEFL-ITP試験)。

(変更後)

英語科目に関しては筆答試問を行わず、英語外部検定試験スコア提出により英語能力を評価します。対象となる英語外部検定試験は、

- ・TOEFL iBT® (Test Date スコアを提出; Home Edition も可)
- ・IELTS (アカデミックとジェネラル・トレーニングのいずれも可)
- ・実用英語技能検定 (英検 S-CBT も可)
- ・TOEIC (L&R のみ)

の4種類です。これらの外部検定試験スコアについて、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)を参考に作成した下記の表に従い換算得点を算出して成績評価に用います。なお、換算得点で100点から50点までと、50点から最低点(0点または10点)までの得点は、それぞれ線形に補間して算出します。満点に相当する100点を超える換算得点は100点として扱い、小数点以下は切り捨てとします。

どの外部検定試験についても、当該試験実施年の2年前の9月以降に受験したものに限り有効としますのでご注意ください。また、出願時にスコア提出ができない場合にも、試験日約2週間前までにスコアを提出することで受験可能とします。提出方法は、11月頃に化学専攻ホームページで公開予定の提出要領および来年度公開予定の「2026(令和8)年度京都大学大学院理学研究科修士課程学生 募集要項」を確認してください。

英語外部検定試験スコアの換算表

| TOEFL iBT | IELTS | 実用英語技能検定 | TOEIC L&R | 換算得点 |
|-----------|-------|----------|-----------|------|
| 95        | 7.0   | 2600     | 918       | 100  |
| 42        | 4.0   | 1950     | 572       | 50   |
| 0         | 0     | 0        | 10        | 0    |

次ページへ続く

・筆答試問について

(変更前)

筆答試問における基礎科目及び専門科目について、解答する科目をあらかじめ出願時に選択する。

<基礎科目>下記 6 科目より、解答する 4 科目を出願時に選択

物理学・物理化学・無機化学・有機化学・生化学・分析化学 (100 点×4 科目=400 点)

<専門科目>下記 5 科目より、解答する 2 科目を出願時に選択

物理学・物理化学・無機化学・有機化学・生化学 (150 点×2 科目=300 点)

(変更後)

筆答試問における基礎科目および専門科目について、解答する科目を試験日当日に選択する。

また、基礎科目については、選択科目数を 4 科目から 3 科目へ変更する。

<基礎科目>下記 6 科目より、解答する 3 科目を試験日当日に選択

物理学・物理化学・無機化学・有機化学・生化学・分析化学 (100 点×3 科目=300 点)

<専門科目>下記 5 科目より、解答する 2 科目を試験日当日に選択

物理学・物理化学・無機化学・有機化学・生化学 (150 点×2 科目=300 点)

以上です。

なお上記の変更にかかり、筆答試問は以下の通り午後から開始とする予定です。

基礎 午後 1:00～午後 3:00

専門 午後 3:30～午後 5:30

以上